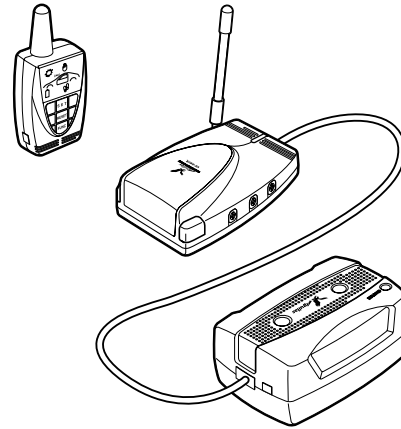




このたびは、Aguilas「VE-S61R」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本機は、新開発デュアルエリアマイクロ波センサーを搭載したカーセキュリティシステムです。
車内に装着し、車輛への接近や衝撃、ドア開、車内への侵入を検知すると、LEDの点滅と警告・警報音で不審者を威嚇するとともにリモコンに通報し、車上荒らしや盗難を未然に防止する防犯装置です。
デュアルエリアマイクロ波センサーは車外(警告)・車内(警報)2つのエリアを識別して、警告、警報の2段階で威嚇します。さらに、本機内蔵の音圧センサー(特許第3361294号)により、車輛への衝撃やドア開検知が可能です。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロール用無線設備ならびに移動体検知センサー用無線設備です。

マイクロ波センサー搭載
カーセキュリティシステム

VE-S61R

取扱説明書/保証書

目次

はじめに	ご使用前に	2
	セット内容	4
	主な機能	5
	各部の名称と働き	6
	取り付けとご使用前の準備	9
リモコンの操作方法	セキュリティ作動～警報～ 解除までの流れ	16
	異常を検知したときの 警告と警報	18
	セキュリティを作動させる	20
各種設定方法	警告音を鳴らさずに監視する	22
	通報時の表示	24
	通報音・警報音を止める (車輛の状態を確認する)	25
	セキュリティを解除する	27
	こんなこともできます	28
	セキュリティ機能の設定	30
	・スタンバイ時間の設定	32
	・強衝撃警報時間の設定	32
	・ドア開・車内侵入警報時間の設定	32
	・エンジン始動監視の設定	33
その他	・威嚇LED点滅設定	33
	・リモコンの登録	34
	■オールリセット	35
	センサーユニットの感度調整	36
	別売スペアリモコンを使う	38
	オプション	40
	故障かな?と思ったら	41
	仕様	44
	アフターサービスについて	45
	保証書	裏表紙



取り付けできる車を、お確かめください。

本機は12V車専用機器です。
12V車以外の車輛には取り付けできません。
また、12V車であってもマイナスアース以外の車ではご使用になれません。

ご使用の前に (安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠警告: 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠注意: 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

🚫 ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠警告

🚫 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、電波による医療用機器への影響を、医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

🚫 水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。

🚫 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。

🚫 運転中は絶対に操作をしない…わき見運転は重大事故の原因になります。

🚫 穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない。…感電や故障の原因となります。

🚫 煙が出ている、異臭がするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。

🚫 機器本体および付属品や別売品を改造しない。…火災や感電、故障の原因となります。

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能(ブレーキ、ハンドル等)の妨げにならない場所に、確実に取り付け…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ 万一、ケースを破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。

🚫 サービスマン以外の方は、絶対に分解したり、修理しない。また、改造はしない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

🚫 車内に人(特に子供)やペットがいるときには、本機を作動しない…万一、警報機能が働いた場合、大音量を発生しますので、聴覚障害やストレスを与える恐れがあります。

ご注意 使用上の制限

■ 使用するときには、必ず車のウィンドウを完全に閉めてください。ウィンドウが開いていると、ドア開を正しく検知できません。

■ 強い雨や雹(ヒョウ)などが降ったときや、雨だれが車体にかかっているときには、ウィンドウやボディへの衝撃を検知して警報する場合があります。また、地下駐車場など空調ファンの振動や音が発生している場所や、その他の振動や騒音が発生している場所では、本機のセンサーが検知し、警報することがあります。このような場合は、センサー感度を調整してお使いください。

■ 本機のリモコンは、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなど強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、リモコン操作ができにくくなる場合があります。

■ 車輦の窓ガラスにウィンドウフィルムが貼ってある場合、そのフィルムの材質によっては、接近検知ができなくなったり、感度が低下する場合があります。

■ ウィンドウに雪が積もっていると、接近を検知できにくい場合やできないことがあります。

■ 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。

ご注意 リモコンの取り扱いについて

■ リモコンに、落下などの衝撃を与えないでください。

■ リモコンを、水につけたり、雨水などで濡れたりすることのないようにしてください。

■ リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。

■ リモコンは、次のような場所に放置しないでください。

- 暖房器具の近くなど、温度の高くなる場所。

- 直射日光の当たる自動車内など、温度の高くなる場所。
- 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
- ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の高い場所。
- 電気製品などの近く。

■ リモコンが汚れたときは、やわらかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジン、シンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

ご注意 電波法について

■ リモコン、センサーユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

■ 海外では使用しないでください。

■ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

本機を取り付けたことによる、車輦や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

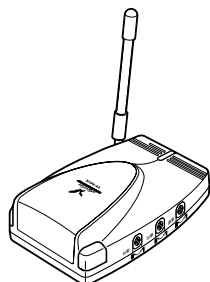
セット内容

接続前にセット内容をお確かめください。

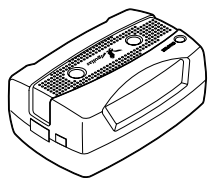
●リモコン(1)



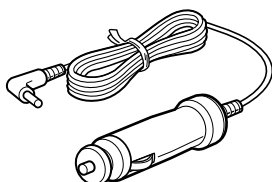
●センサーユニット(1)



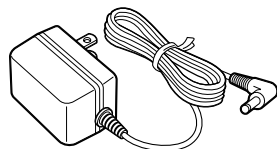
●サイレンユニット(1)



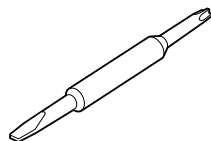
●シガーライターコード(1)



●ACアダプター(1)



●調整用ドライバー(1)



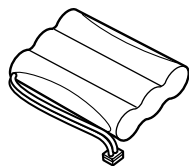
●サンバイザークリップ(1)

●マジックテープ(1)

●取扱説明書/保証書(本書)

※()内の数字は個数を表します。

●ニッケル水素電池(1)



主な機能

簡単操作

リモコン操作を行う前にFUNCTIONボタンを確認音『ドレミファソ』が鳴るまで(5秒以上)押しで電源ONにしてください。

- | | |
|---------------------|---|
| リモコンのSETボタンを押す | → 監視状態になります。
(本書20ページ参照) |
| リモコンのSETボタンを長く押す | → 接近検知で警告音を鳴らさない(警告音キャンセル機能)監視状態になります。
(本書22ページ参照) |
| リモコンのRESETボタンを押す | → 監視状態を解除します。
(本書27ページ参照) |
| リモコンのFUNCTIONボタンを押す | → リモコンの通報音を停止します。
(本書24ページ参照) |

監視動作とリモコンの表示

本機では次のような異常検知を行い、警告や警報を鳴らすとともにリモコンに通報します。

車輦への接近検知 ----- 車輦周辺(車外監視エリア)の移動体を検知します。(本書36ページ参照)



車輦への衝撃(強弱2段階)検知 ----- 車輦への衝撃を強弱2段階で検知します。
(本書36ページ参照)



<弱い衝撃通報時> <強い衝撃通報時>

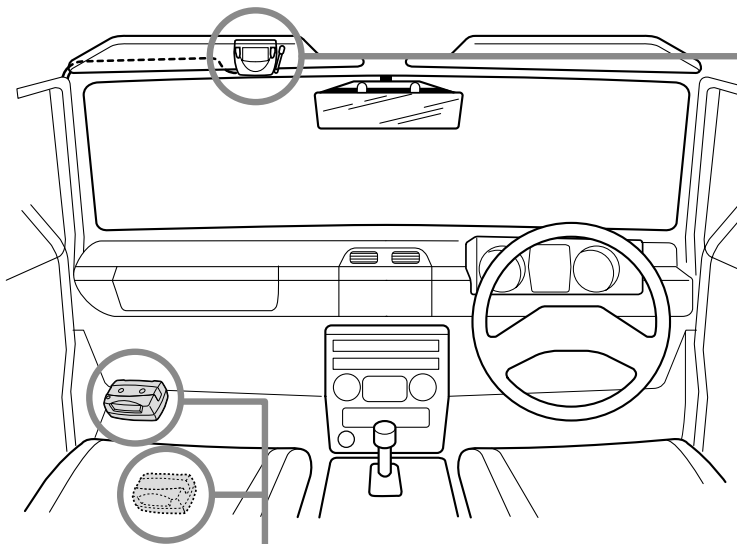
ドア開、車内侵入検知 ----- ドア開や車内(車内監視エリア)の移動体を検知します。(本書36ページ参照)



エンジン始動検知 ----- 車輦のエンジン始動(アクセサリ電源のON)を検知します。(本書28ページ参照)



センサーユニット断線検知 ----- センサーユニットの破壊(断線)を検知します。(本書24ページ参照)
リモコンへの通報はありません。

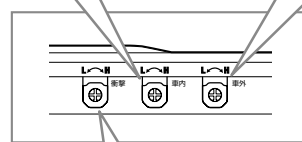


センサーユニット

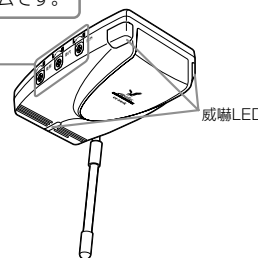
デュアルエリアマイクロ波センサー、音圧センサーおよび通信機能を内蔵したユニットです。サンバイザーに取り付けて使用します。

●車内検知調整ボリューム
車内侵入を検知するための調整ボリュームです。

●車外検知調整ボリューム
車外への接近を検知するための調整ボリュームです。



●音圧センサー
車外への衝撃を検知するための調整ボリュームです。
※弱衝撃の感度調整により、強衝撃の感度は自動的に調整されます。



警告・警報時には、威嚇LEDが点滅して、威嚇の効果を高めます。
異常を検知したときの本機の動作については、18ページをご覧ください。

サイレンユニット

警告・警報用サイレンです。付属のニッケル水素電池を装着して使用します。監視中にセンサーユニット信号線を抜くと、断線警報が鳴ります。シートの下やグローブボックスの下など目立たない場所に取り付けます。

最大音圧 100dB/m

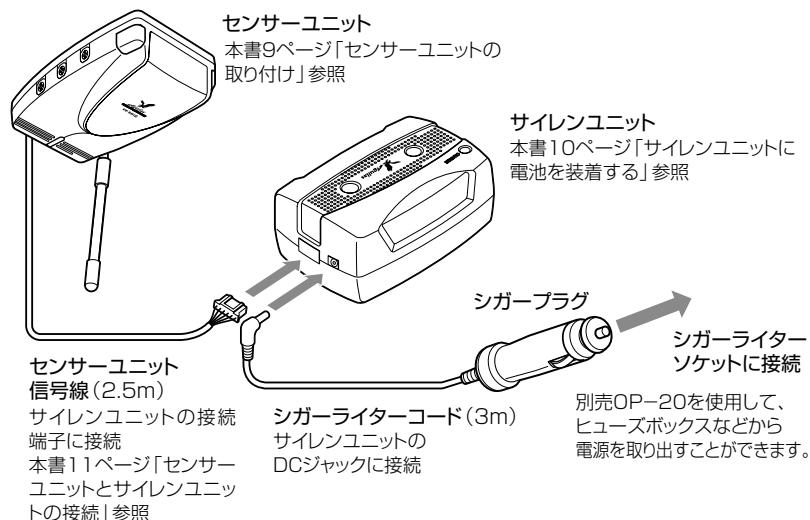
ご使用になる前に本書10ページ「サイレンユニットに電池を装着する」を参照のうえ、車のエンジンをかけ1時間以上充電を行ってください。

日頃から防犯をお心がけください

本機は、車に加えられた異常を検知して警告または警報する装置です。そのため、盗難やイタズラに対して常に万全ではありません。日頃から防犯をお心がけください。

- 1 エンジンキーをつけたままの状態、車から離れない。
- 2 車から離れるときは、すべてのドアがロックされていることを、必ず確認する。
- 3 駐車中は、すべてのウィンドウを完全に閉める。
- 4 車内に貴重品を置かない。貴重品でなくとも、目につく物はできる限り置かない。
- 5 駐車するときは、できるだけ「明るい」、「人通りのある」場所を選ぶ。

本機は下図のように接続します。詳しくは各ページをご覧ください。

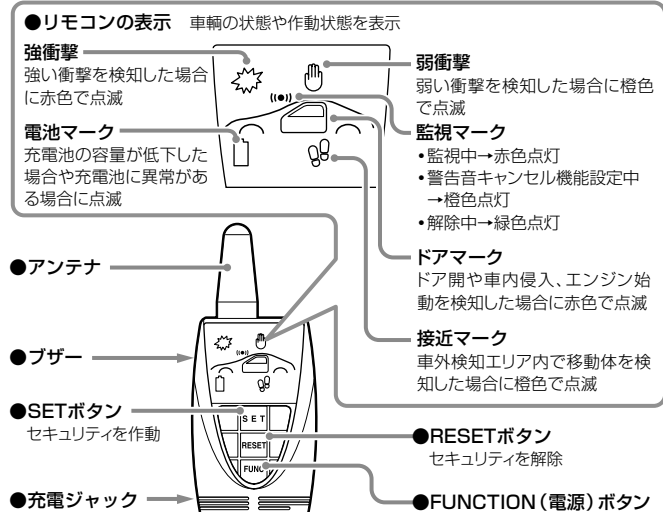


各部の名称と働き

リモコン(特定小電力式)

ご使用になる前に本書14、15ページ「リモコンを充電する」「リモコンの電源をONにする」をご覧ください。

本機機能の作動・解除(停止)や各機能の設定ができます。



リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

■リモコンのアンテナを手で覆わない。

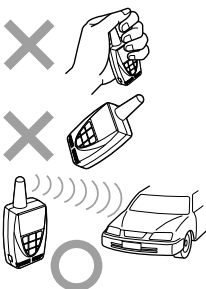
※通信距離が短くなります。

■リモコンは垂直に立てて、車輦(センサーユニット)に向けて操作してください。

※斜めに操作すると、通信距離が短くなることがあります。
※リモコンにチェーンやカギ、アクセサリなどを付けていると、通信エラーを発生する場合があります。

■通信距離の目安

通信距離：最大3,000m(見通し)
都市部(ビル街)：300m(遮蔽物あり)～1,000m
郊外(住宅街)：400m(遮蔽物あり)～1,500m



- 8 **ご注意** 地下や鉄筋構造の建物の中などでは通信できません。
周囲の電波環境や建物の構造により、通信距離は変わります。

取り付けとご使用前の準備

次ページに続く

⚠警告

運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠注意

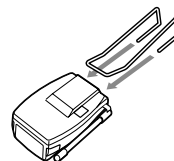
取り付けは、確実に行ってください。落ちたりすると、ケガの原因となります。

センサーユニットの取り付け

付属のサンバイザークリップでサンバイザーに取り付けます。

- ご注意**
- ・ダッシュボード上など直射日光の当たるところに取り付けしないでください。高温状態で誤作動する恐れがあります。
 - ・ご使用になる前に、車輦に合わせて車外監視エリア・車内監視エリアの調整および音圧センサーの調整を行ってください。(本書36ページ参照)

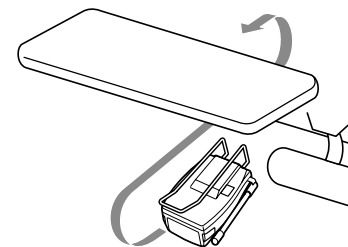
1 付属のサンバイザークリップをセンサーユニットに取り付ける



2 センサーユニットをサンバイザーの車輦中央寄りに挟み込む

ポイント

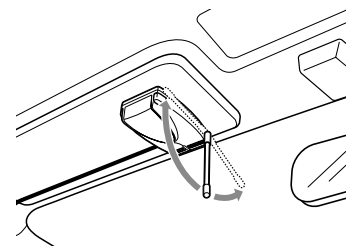
センサーユニットを左側席(右ハンドル車は助手席)サンバイザーの車輦中央寄りに取り付けると、車輦左右に均等な監視エリアを設定することができます。



3 アンテナを回転して垂直にする

ポイント

- ・アンテナはなるべく垂直になるよう取り付けてください。一般的に水平な状態に比べ、ある程度の角度を持たせたほうが通信距離が比較的伸びます。
- ・アンテナの角度が決定したら、角度は変えないようにします。(アンテナの角度は、通信距離に影響します)

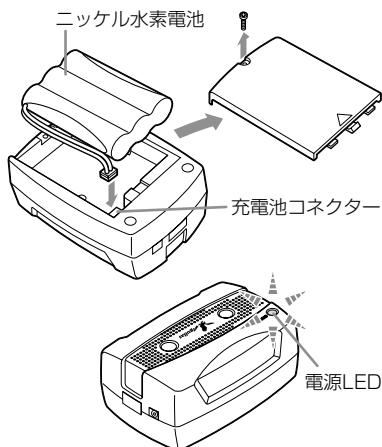


サイレンユニットに電池を装着する(市販のめがね用ドライバーや小型ドライバーをご用意ください)

電池の入れかた

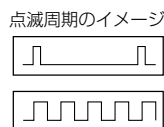
1. サイレンユニット底面のネジ1本を市販のめがね用ドライバーや小型ドライバーを使用して外し、電池カバーをスライドさせて外す。
2. 充電コネクターに付属の専用電池(ニッケル水素電池)を装着する。
3. 充電のコードをカバーに挟み込まないようにして電池カバーを取り付ける。
4. 電池カバーのネジを締める。

サイレンユニットに電池を接続すると『ピーピー』と鳴り、専用電池が正常に動作する場合は電源LEDが瞬点灯します。



ご注意

- 電池の容量が低下している場合は、電源LEDが遅い点滅をします。充電を行ってからご使用ください。
- 電池に異常(電池の不良など)がある場合は、電源LEDが速い点滅をします。電池を外し、新しい電池に交換してください。

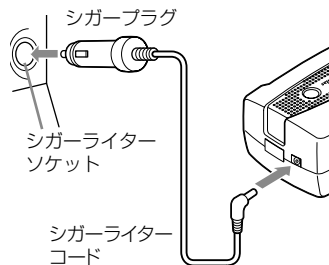


サイレンユニットの充電

付属のシガーライターコードを使って、車のエンジンをかけ、1時間以上充電を行ってください。

ポイント

- シガープラグは常時接続した状態でご使用になれます。
- 1時間の充電で約1週間の連続監視が可能です。
※連続監視時間は、ご使用状況により変わります。
- 充電中は電源LEDが点灯しますが、充電が終了しても消灯しません。
- 電池の寿命は約2年です。
※ご使用状況により、表記寿命より短くなることがあります。
- 電池が劣化すると、十分に充電しても使用時間が短いなどの症状が現れます。このようなときは、早めに交換してください。
交換用電池は販売店で求めいただけます。品番BE3/HHR120F3G6

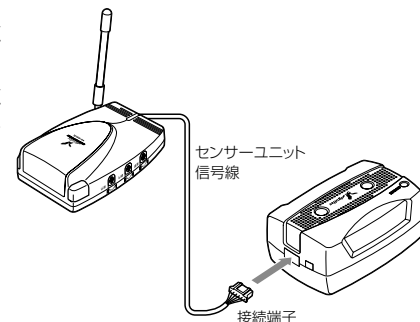


センサーユニットとサイレンユニットの接続

センサーユニット信号線をサイレンユニットの接続端子に接続する

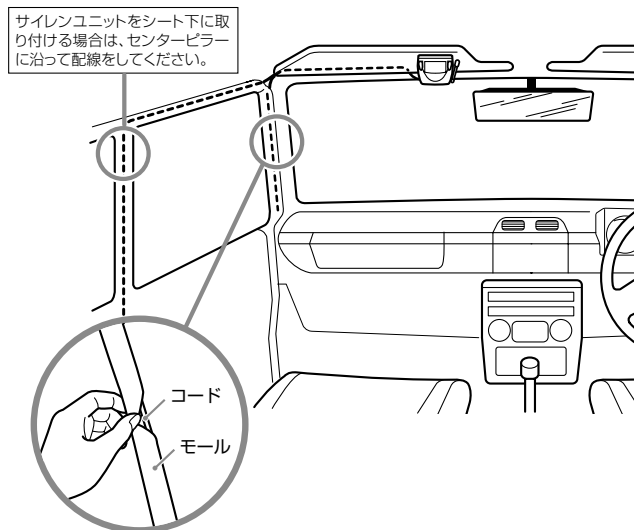
サイレンユニットと接続すると、『ピーピー』と鳴り、威嚇LEDが瞬点灯します。

接続に異常がある場合は、威嚇LEDが点灯したままとなります。お買い求めいただいた販売店、または弊社サービス窓口にご相談ください。

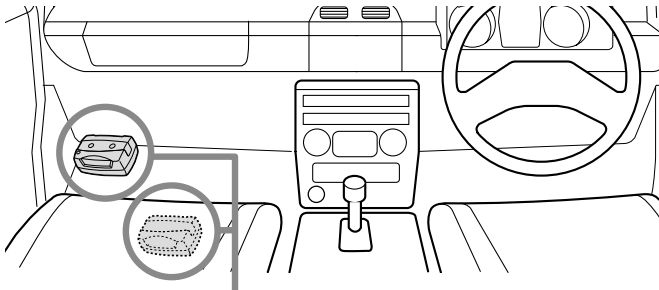


●センサーユニットの配線処理

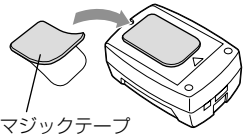
センサーユニットの信号線は、ピラーのモールをめぐり、モールに挟み込むようにして配線します。



サイレンユニットを取り付ける



サイレンユニットはシートの下や助手席グローブボックス下など目立たない場所に付属のマジックテープを使って取り付けます。



メモ

- シート下などに取り付ける場合は、マジックテープの片面(張り付き易い側)だけを使って、フロアマットに固定できます。
※フロアマットの材質によっては、マジックテープで固定できないことがあります。走行中に転がらないようご注意ください。

点滅周期について

リモコンのマークやセンサーユニットの威嚇LED、サイレンユニットの電源LEDの状態判断が必要な点滅周期を以下のように記載しています。

表 記	点滅周期	点滅イメージ
点滅		
遅い点滅	0.025秒点灯、3.4秒消灯	
速い点滅	0.25秒点灯、0.25秒消灯	
2回点滅	0.25秒点灯、0.1秒消灯で2回点滅	
3回点滅	0.25秒点灯、0.1秒消灯で3回点滅	
5回点滅	0.25秒点灯、0.1秒消灯で5回点滅	

警告、警報の定義

本書は警告、警報を以下の定義で記載しています。

警告

「ピュ」「ピュピュ」などの単発音を鳴らして注意を促す動作です。
「車輛への接近」「弱い衝撃」を検知した場合は警告動作となります。

警報

連続音を鳴らして不審者を威嚇し、車輛の異常を周囲に知らせる動作です。
「強い衝撃」、「ドア開」、「車内侵入」、「断線」などを検知した場合は警報動作となります。

通報

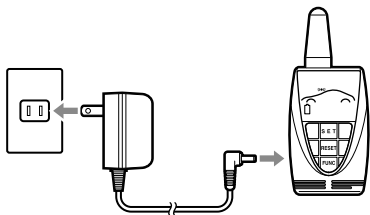
異常があったことをリモコンにお知らせする動作です。

リモコンを充電する

初めてご使用になる場合は、リモコンに付属のACアダプターを接続して約8時間以上充電してからご使用ください。

ご注意 電池容量が低下(少ないときの表示)していると、車輛(センサーユニット)からの通報を受信できません。

1 リモコンの充電ジャックに、付属のACアダプターを接続する

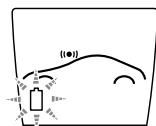


注意

付属のACアダプター以外では充電を行わないでください。発火や故障の原因となります。

2 ACアダプターを接続後、数秒経過すると、電池マークが点滅します。

充電は8時間を目安に行ってください。



<充電中の表示>

ポイント

- 充電が完了しても表示は変わりません。また、8時間以上充電を行っても、問題はありません。
- 1回の満充電で約120時間(5日間)連続監視が可能です。

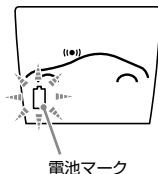
ポイント

内蔵電池の寿命は約2年です。内蔵電池が劣化すると十分に充電しても使用時間が短いなどの症状が現れます。※ご使用状況により、表記寿命より短くなることがあります。このような場合は、お早めにリモコン電池の交換をお買い上げいただいた販売店または弊社サービス部にて依頼ください。有料にて電池を交換いたします。

●使用中にリモコンの内蔵電池が消耗すると…

リモコンが『ピー』と鳴り、監視中の通報受信を停止します。(セキュリティの作動、解除の操作はできます)さらに、電池が消耗すると『ピピピピ』と鳴り、リモコンの電源をOFFにします。

<電池の状態と電池マークの表示>



- 十分なときの表示
点滅・点灯表示はありません。
- 少ないときの表示
遅い点滅を繰り返します。
- 異常電圧(電池不良など)
速い点滅を繰り返します。

リモコンの電源をONにする

リモコン操作を行うには、あらかじめ下記手順でリモコンの電源をONにしてから行ってください。

1 FUNCTIONボタンを、確認音『ドレミファ』と鳴るまで5秒以上押す



ドレミファ

2 リモコンの電源をONにするとすべてのマークが約1秒間点灯後、センサーユニットの状態確認を行います。(監視マークが緑色で点滅)。センサーユニットと通信ができた場合はセキュリティの作動状態を表示します。通信できなかった場合は解除中の表示になります。



<電源ON時の表示>

セキュリティの作動状態	リモコンの表示
監視中	監視マークが赤色点灯
警告音キャンセル機能を設定して監視中	監視マークが橙色で点灯
解除中	監視マークが緑色で点灯



監視マーク

ポイント

- 監視マークの表示時間は約2秒間です。
- リモコンの電波が届かない場所や本機を作動できる状態(センサーユニットとサイレンユニットの接続やサイレンユニットの電池装着など)にない場合は監視マークが緑色で点灯します。

電源をOFFにするには

FUNCTIONボタンを確認音『ファミレド』が鳴るまで5秒以上押す

セキュリティ作動～警報～解除までの流れ

セキュリティ作動から警報、解除までの大まかな流れは以下になります。
詳しい操作方法や動作は本書20ページから27ページをご覧ください。

警報動作はドア開、車内侵入を想定した動作を記載しています。

セキュリティを作動する

リモコンのSETボタンを押す

リモコンのSETボタンを長押し(1.5秒以上)する

電池マークが遅い点滅をしている場合はリモコンの充電容量が低下しているため、通報を受信できません。充電を行ってください。

点滅周期のイメージ

通常監視

警告音キャンセル機能設定

リモコンからの信号を受信すると

威嚇LEDが点滅します。監視状態に入ると全ての威嚇LEDが速い点滅から1つずつ(順次)の遅い点滅に変わります。

リモコンの表示

監視マークの点滅・点灯で監視状態をお知らせします。

通常の監視状態 ----- 赤色で点灯
警告音キャンセル機能設定中 ----- 橙色で点灯

ご注意

サイレンユニットの電池容量が低下している場合は…
電池容量が低下しているため、監視できません。サイレンユニットを充電してください。

監視を解除する

リモコンのRESETボタンを押す

着信履歴表示後、センサーユニットの警報履歴を表示し、監視マークが緑色点灯します。

ポイント

着信履歴と警報履歴

- 着信履歴
リモコンが受信した通報でもっとも警報レベルの高い通報の履歴。
- 警報履歴
リモコンに通報できなかった警報を含むもっとも警報レベルの高い警報の履歴。

ドア開、車内侵入を検知したときは

通報音『ピーピーピー』を5秒おきに設定した警報時間繰り返します。
ドアマークが点滅します。

サイレンユニットの動作

警報音『ピューピューピュー』を3秒おきに設定した警報時間繰り返します。

ピュー
ピュー
ピュー
ピュー

センサーユニットの動作

威嚇LEDが連続して点滅します。

通報音を止める

警報音を止める

警報音・通報音を止める

FUNCTIONボタンを『ビッ』が鳴るまで押す
通報音のみ止まります。

FUNCTIONボタンを『ビッ』が鳴るまで押す
再度、FUNCTIONボタンを『ビビビッ』が鳴るまで押す
通報音と警報音が止まります。

通報音を止めないと

通報音・警報音は設定時間で停止します。通報音停止後はドアマークを約4秒に1回点灯してドア開、車内侵入を検知したことをお知らせします。(着信履歴表示)

表示されるマークはもっとも警報レベルの高い通報マークを表示します。

異常を検知したときの警告と警報

監視中に車両への接近、衝撃、ドア開などの異常を検知したときには、次のような警告・警報をサイレンユニットから発するとともに、リモコンに通報します。

※  は、警告音キャンセル機能を設定した場合の動作です。



本機で監視する内容 各ユニット・リモコンの動作	サイレンユニット ローバッテリー	車両への接近	弱衝撃	強衝撃	ドア開	車内侵入	断線警報	エンジン始動警報
	サイレンユニットの電池容量を監視します。	車外検知エリア内の移動体を監視します。 本書36ページ「車外監視エリアの調整方法」で監視エリアの調整ができます。	車両への弱い衝撃を監視します。 本書37ページ「音圧センサーの調整方法」で衝撃感度の調整ができます。	ウィンドウの破壊など車両への強い衝撃を監視します。 弱い衝撃の感度に連動して調整されます。	ドア開を監視します。	車内検知エリア内の移動体を監視します。 本書37ページ「車内監視エリアの調整方法」で感度の調整ができます。	センサーユニットの破壊(断線)を監視します。	車両のアクセサリ電源ONを監視します。 本書33ページ「エンジン始動の監視」で動作を設定できます。
センサーユニット 威嚇LED		1秒点灯	2回点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	警報中連続して点滅	点滅しません	警報中連続して点滅
サイレンユニット 警告・警報音 警報音は警報停止操作で停止できます。(本書25ページ参照)	サイレンユニットの電池容量が低下すると、電池容量の低下をリモコンへ通知します。(ローバッテリー通知)監視は継続します。さらに電池容量が低下すると、監視解除を知らせ(監視解除通知)セキュリティを解除します。	『ピュ』	『ピュピュ』	『ピュピュピュ』を3秒おきに設定した警報時間繰り返しします。 警報時間は本書32ページ「強衝撃警報時間の設定でワンショット/10秒/30秒/60秒から選択できます。	『ビュービュービュービュー』を3秒おきに設定した警報時間繰り返しします。 警報時間は本書32ページ「ドア開・車内侵入警報時間の設定でワンショット/30秒/60秒/120秒から選択できます。		『ビュービュー』を3秒おきに約60秒間繰り返しします。	『ビュービュー』を3秒おきに設定した警報時間繰り返しします。 警報時間は本書32ページ「ドア開・車内侵入警報時間の設定でワンショット/30秒/60秒/120秒から選択できます。
リモコン リモコン表示と通報音 リモコンの表示と通報音は、通報停止操作で停止できます。(本書24ページ参照)	●ローバッテリー通知 『ブブッ』が3回鳴り、監視マークが赤色または橙色で3回点滅します。 ●監視解除通知 『ブブブッ』が3回鳴り、監視マークが緑色で5回点滅します。	『ピッ』が1回鳴り、接近マークが5秒間点滅します。 	『ピビッ』が1回鳴り、弱衝撃マークが5秒間点滅します。 	『ピビビッ』が5秒おきに鳴り、強衝撃マークが点滅します。 	『ピーピーピーピー』が5秒おきに鳴り、ドアマークが点滅します。 			『ピーピー』が5秒おきに鳴り、ドアマークが点滅します。 

セキュリティを作動させる場合は、全てのウインドウを完全に閉めた状態で駐車してください。

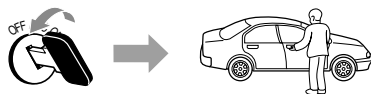


ご注意

- ・ウインドウは、完全に車内を密閉状態にしてください。すき間があると、気圧の変化を正しく検知する事ができず、ドア開警報が鳴りません。
- ・オープンカーで、ルーフを開けた状態で本機を作動させた場合、ドア開を検知できません。駐車の際は、できるだけルーフを閉じて、セキュリティを作動させてください。
- ・車輛のエンジンキーOFFで自動的にセキュリティを作動させることはできません。

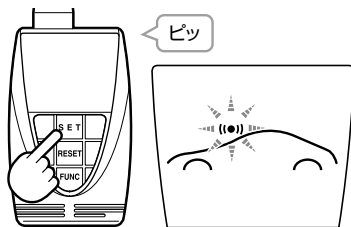
準備

- 1 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、降車してドアを閉める



リモコンの操作

- 2 SETボタンを押し、操作確認音『ピッ』が鳴ったらSETボタンを離す

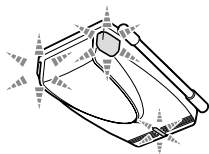


送信音『ドミソミド』が鳴り、信号が送信されます。監視マークが緑色で約2秒間点滅します。



センサーユニットがリモコンの信号を受信すると

セキュリティ作動音『ピュ』が鳴り、全ての威嚇LEDが速い点滅で動作し、操作の受け付けをリモコンに送信します。



ポイント

サイレンユニットの電池が十分に充電されていないとセキュリティを作動できません。監視マークが電池の状態に応じて点滅します。(本書10ページ参照)

メモ

スタンバイ時間とは

本機リモコンのSETボタン操作後、セキュリティが作動して監視にはいるまでの時間がスタンバイ時間です。ターボタイマー併用時などは、アフターアイドル終了後にセキュリティの監視を開始することが出来ます。スタンバイ時間は、工場出荷時に10秒(10秒/1分/3分/5分から選択できます)に設定されています。(32ページ参照)

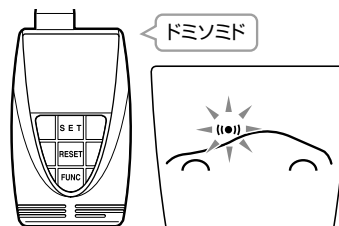
次のような場合はセキュリティを作動できません。

- ・サイレンユニットの電池容量が低下している場合
容量が少ない場合は『ブブブッ』が3回鳴り、監視マークが緑色で5回点滅します。容量が無い場合は、エラー音『ピー』が鳴り、監視マークが緑色で点滅します。
- ・スタンバイ時間を10秒に設定しており、アクセサリ電源がONの状態でセキュリティ作動操作を行った場合
『ピーピーッ』と鳴り、監視マークとドア開マークが5秒間点滅します。
- ・スタンバイ時間を10秒以外に設定しており、スタンバイ時間を過ぎてもアクセサリ電源がONのとき
『ピーピーッ』と鳴り、監視マークとドア開マークが5秒間点滅します。

- 3 受信音『ドミソミド』が鳴り、監視マークが赤色で約2秒間点灯します。

ポイント

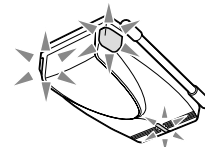
充電中は監視マークが常時点灯します。



センサーユニットからの信号を受信できないとエラー音『ピー』が鳴り、監視マークが約2秒間緑色で点滅します。このような場合は、もう一度手順2から操作してください。

- 4 スタンバイ時間を経過すると、監視動作になります。

威嚇LEDを点灯に設定している場合は、全ての威嚇LEDが速い点滅(スタンバイ時間)から1つずつ(順次)の点滅(監視状態)に動作が変わります。



監視動作に入ると、作動音『ピュ』が鳴ります。

セキュリティを作動させる場合は、全てのウインドウを完全に閉めた状態で駐車してください。

警告音を鳴らせずに監視する(警告音キャンセル機能)

警告音キャンセル機能を設定している場合は、車輛の周囲を人が歩く程度では、警告音を発しません。衝撃やドア開などの異常では警告・警報動作を行いますので、スーパーの駐車場など、人の出入りが多い場所に駐車するときなどにご利用ください。

ポイント セキュリティ作動中(監視中)でも、下記リモコン操作により警告音キャンセル機能を設定できます。

ご注意

警告音キャンセル機能を設定している場合でも、車輛の通過など大きな動きや衝撃を検知した場合は、警告・警報を行う場合があります。

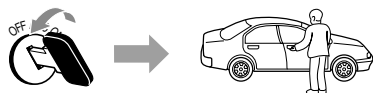


ポイント

警告音キャンセル機能設定中は、接近検知の通報を行いません。

準備

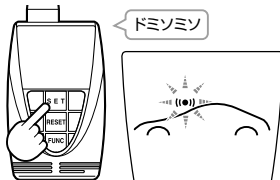
1 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、降車してドアを閉める



リモコンの操作

2 リモコンのSETボタンを操作確認音『ドミソミン』が鳴るまで長押し(約1.5秒)する

確認音『ピッ』が鳴り、さらに押し続けると『ドミソミン』と鳴ります

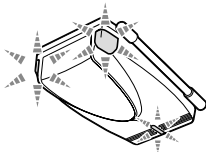


監視マークが緑色で2秒間点滅します。

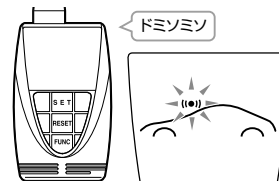


センサーユニットがリモコンの信号を受信すると

セキュリティ作動音『ピュピュ』が鳴り、全ての威嚇LEDが速い点滅で動作し、操作の受け付けをリモコンに送信します。



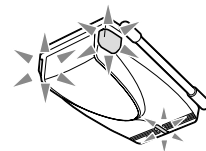
3 受信音『ドミソミン』が鳴り、監視マークが橙色で約2秒間点灯します



センサーユニットからの信号を受信できないと『ピー』と鳴り、監視マークが約2秒間緑色で点滅します。このような場合は、もう一度手順2から操作してください。

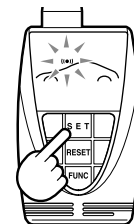
4 スタンバイ時間を経過すると、監視動作になります。

威嚇LEDを点灯に設定している場合は、全ての威嚇LEDが速い点滅(スタンバイ時間)から1つずつ(順次)の点滅(監視状態)に動作が変わります。



監視動作に入ると、作動音『ピュピュ』が鳴ります。

●警告音キャンセル機能を解除して、通常監視を行う場合は…
リモコンのSETボタンを操作確認音『ピッ』が鳴るまで押します。確認音『ドミソミド』が鳴り、監視マークが赤色に約2秒間点灯して警告音キャンセル機能を解除した通常の監視状態となります。
詳しくは、本書20、21ページをご覧ください。



通報時の表示

セキュリティ監視中に異常を検知すると、リモコンが以下の通報動作となります。

接近を検知したときの表示



『ピッ』と鳴り、接近マークが約5秒間点滅します。
通報音を鳴らせずに監視することもできます。
(29ページ参照)

弱衝撃を検知したときの表示



『ピピッ』と鳴り、弱衝撃マークが約5秒間点滅します。

強衝撃を検知したときの表示



『ピピピッ』が約5秒おきに鳴り、強衝撃マークが点滅します。通報音停止などの操作がない場合は、設定した警報時間の間、通報動作を行います。

ドア開、車内侵入を検知したときの表示



『ピーピーピー』が約5秒おきに鳴り、ドアマークが点滅します。通報音停止などの操作がない場合は、設定した警報時間の間、通報動作を行います。

断線を検知したときの表示

警報中にセンサーユニットを外された場合は、60秒間警報が鳴ります。警報中にセンサーユニットを接続しても、警報は止まりません。

着信履歴

通報音停止操作がない場合、リモコンで通報を受信した、もっとも警報レベルの高いマークを約4秒おきに点灯して、異常があったことをお知らせします。(接近通報は表示されません)

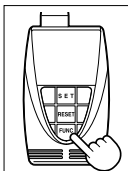
警報レベルの順

ローバッテリー通知<弱衝撃<強衝撃<ドア開・侵入/エンジン始動<監視解除

●リモコンの通報音を止めるには…

リモコンのFUNCTIONボタンを操作確認音『ピッ』が鳴るまで押してください。
表示が消え、通報音が止まります。

ポイント 車輦(サイレンユニット)の警報音は止まりません。
車輦(サイレンユニット)の警報音を止めるには、本書25ページをご覧ください。



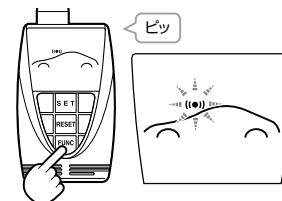
通報音・警報音を止める(車輦の状態を確認する)

●車輦(サイレンユニット)の警報音とリモコンの通報音を止めるには…

警報中は以下の手順で車輦(サイレンユニット)の警報とリモコンの通報音を停止できます。また、リモコンが通信圏外にあったなどの理由により、通報を受信できなかった場合や、車輦の監視状態を確認したい場合にも、同様の手順で確認できます。

リモコンの操作

1 FUNCTIONボタンを操作確認音『ピッ』と鳴るまで押す



通報音が止まり、監視マークが約2秒間点滅します。

2 監視マークが点滅中に、再度FUNCTIONボタンを『ピピピッ』と鳴るまで押す

監視マークが速い点滅に変わり、センサーユニットとの通信を開始します。

3 受信音が鳴り、車輦の監視状態と監視中に検知したもっとも警報レベルの高いマークを約5秒間点滅表示します。(警報履歴の表示)

受信音は監視状態により異なります。

- 通常監視状態…『ドミソミド』
- 警告音キャンセル機能設定時…『ドミソミン』
- セキュリティ解除状態『ソミドミン』

警報履歴

監視中に異常を検知した場合は、もっとも警報レベルの高いマークをセンサーユニットとの通信時に表示します。(接近や弱衝撃警告は表示されません)

●警報履歴の表示と通報音

強い衝撃を検知した場合…通報音『ピピピッ』が鳴り、強衝撃マークが5秒間点滅します。
ドア開や車内侵入を検知した場合…通報音『ピーピーピー』が鳴り、ドア開マークが5秒間点滅します。
センサー断線やエンジン始動を検出した場合…通報音『ピーピー』が鳴り、ドア開マークが5秒間点滅します。
充電中は連続した点滅表示を行います。

ポイント

警告・警報履歴はリモコンに通報されていない履歴を含みます。
※着信履歴の表示と異なる場合があります。

警報レベルの順

強衝撃<ドア開・侵入<センサー断線/エンジン始動

セキュリティを作動させる

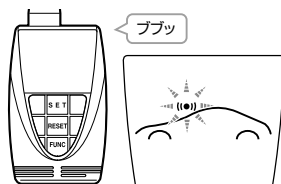
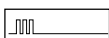
●セキュリティ監視中、サイレンユニットの電池が消耗すると…

監視中にサイレンユニットの電池が消耗すると、消耗の度合いによりリモコンに通知します。

ローバッテリー通知

サイレンユニットの電池容量が低下すると、電池容量の低下をリモコンにお知らせします。(監視は継続します)このような場合は、速やかにサイレンユニットを充電してください。
『ブブッ』が約4秒間鳴り、監視マークが赤色または橙色で3回点滅後、着信履歴表示になります。

点滅周期のイメージ



・通知音を止めるには…

リモコンのFUNCTIONボタンを操作確認音『ビッ』が鳴るまで押してください。
表示が消え、通知音が止まります。

通知音停止操作がない場合は、監視マークが赤色または橙色で約4秒おきに1回点灯して通報機能が停止状態にあることをお知らせします。(着信履歴の表示)

ポイント

充電中は連続した点滅表示を行います。

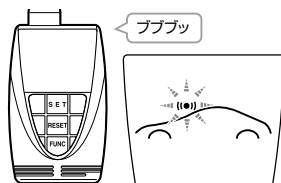
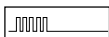
ご注意

ローバッテリー通知以前に、弱衝撃以上の着信履歴がある場合は、そちらを表示します。

監視停止通知

ローバッテリー通知より、さらに電池容量が低下すると、セキュリティを解除します。
『ブブブッ』が3回鳴り、監視マークが緑色で5回点滅後、着信履歴表示となります。

点滅周期のイメージ



・リモコンの通知音を止めるには…

リモコンのFUNCTIONボタンを操作確認音『ビッ』が鳴るまで押してください。
表示が消え、通知音が止まります。

通知音停止操作がない場合は、監視マークが緑色で約4秒おきに1回点灯してセキュリティ解除をお知らせします。(着信履歴の表示)

ポイント

充電中は連続した点滅表示を行います。

ご注意

監視停止通知を受信すると、以前の着信履歴は消去されます。

セキュリティを解除する(警報を止める)

操作確認音『ソミドミソ』が鳴るまでRESETボタンを押す

ポイント

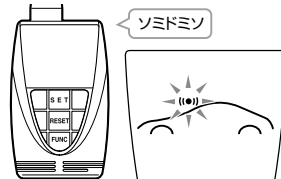
着信履歴ある場合は、着信履歴を表示します。(着信履歴 本書24ページ参照)



監視マークが赤色または橙色で約2秒間点滅します。

センサーユニットからの信号を受信すると

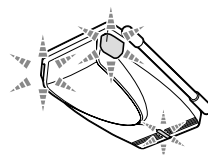
確認音『ソミドミソ』が鳴り、監視マークが緑色で2秒間点灯し、セキュリティ解除となります。



監視中に異常があった場合は警報履歴を表示します。
(警報履歴 本書25ページ参照)

リモコンからの信号を受信すると

『ビュビュビュ』と鳴り、威嚇LEDが3回点滅し、セキュリティを解除します。



警告・警報中は警告・警報音を停止します。

信号を受信できないと…

センサーユニットからの信号を受信できないと『ピー』と鳴り、監視マークが約3秒間点滅します。このような場合は、もう一度リモコン操作を行ってください。

こんなこともできます

監視中のエンジン始動(アクセサリ電源のON)を監視できます

ご注意 外国車などACC(アクセサリ電源)が常時ONになっている車輛は監視することができません。

本書33ページ「エンジン始動(アクセサリ電源)監視の設定」で「リモコンに通報し、セキュリティを解除する」(工場出荷時設定値)または「リモコンに通報し、エンジン始動警報を鳴らす」を選択してください。

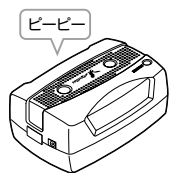
- 「リモコンに通報し、セキュリティを解除する」を選択しているとき
サイレンユニットの警報を鳴らさずに、セキュリティの解除とともにリモコンに通報します。



通報時の動作

リモコン
通報音『ピーピピ』が鳴り、ドアマークが5秒間点滅します。

- 「リモコンに通報し、エンジン始動警報を鳴らす」を選択しているとき
サイレンユニットの警報を鳴らし、リモコンに通報します。



警報時の動作

サイレンユニット
警報音『ピューピュー』を3秒おきに「ドア開・車内侵入警報時間」で設定した時間繰り返します。



リモコン
通報音『ピーピー』を5秒おきに「ドア開・車内侵入警報時間」で設定した時間繰り返し、ドアマークが点滅します。
通報音停止などの操作がない場合は、「ドア開・車内侵入警報時間」で設定した時間、通報音を鳴らします。

ポイント

- 警報中アクセサリ電源をOFFにすると警報は止まります。
- 充電中はドアマークが連続して点滅します。

外国車で使用する

本機は外国車や常時ACC(アクセサリ電源)がONの車輛でも、ご使用いただけます。

本書33ページ「エンジン始動(アクセサリ電源)の監視の設定」で「エンジン始動の監視を行わない」(外国車モード)を選択してください。

ご注意 サイレンユニットの電池が常に充電状態になりますので、車輛のバッテリー上がりにご注意ください。1週間に1度程度はエンジンを始動し、車輛のバッテリーを良好に保つよう心がけてください。

エンジンキーによるセキュリティ監視の解除

監視中にエンジンキーをACCにすると警報を停止して、監視を解除することができます。本書33ページ「エンジン始動(アクセサリ電源)監視の設定」で「リモコンに通報し、セキュリティを解除する」(工場出荷時設定値)を選択してください。
通報時の動作は本書28ページ「リモコンに通報し、セキュリティを解除する」を選択しているときをご覧ください。

ご注意 ACC(アクセサリ電源)をONにするまでに検知した異常(接近、ドア開、車内侵入など)は警告・警報動作を行います。

リモコンエンジンスターター始動中も監視を継続することができます

監視中にリモコンエンジンスターターを始動した場合でも、車内侵入、センサー破壊(断線)を監視することができます。本書33ページ「エンジン始動(アクセサリ電源)の監視の設定」で「エンジン始動(アクセサリ電源)の監視を行わない」を選択してください。

ポイント エンジン始動(アクセサリ電源のON)直後より、ドア開および車内侵入のみの監視となります。
エンジン停止後は、通常の監視に戻ります。

ご注意 振動の多い車輛などでは、エンジンスターター始動中に侵入警報が鳴る場合があります。このような車輛でご使用の場合は「リモコンに通報し、セキュリティを解除する」に設定してご使用ください。

接近通報の通報音を鳴らさずに監視する

通常監視中(警告音キャンセル機能を設定しないで監視中)に、接近を検知しても接近マークの点滅のみで、通報音を鳴らさずに監視することができます。
車輛の警告音は鳴ります。

リモコン操作(接近通報音の停止)

1. FUNCTIONボタンを確認音『ピッ』が鳴るまで押す。

2. 監視マーク点滅中にRESETボタンを押す。

確認音『ビピッ』が鳴り、監視マークが2回点滅します。

以後接近通報音を鳴らしません。接近マークは点滅します。

ご注意 リモコンの電源をOFFにするまで、通常監視中の接近通報音は鳴りません。

接近通報音を鳴らすには・・・

上記手順で通報音を鳴らすことができます。

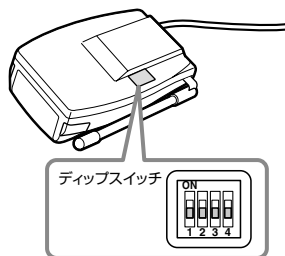
確認音『ビピピッ』が鳴り、監視マークが2秒間点灯します。

1 セキュリティを解除する



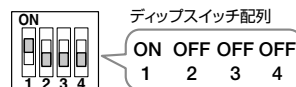
センサーユニットの操作

2 センサーユニットのディップスイッチ配列を、本書32～34ページを参照して、設定する項目と同じ配列にする



例 スタンバイ時間の設定を1分に変更する場合の操作

ディップスイッチを「ON」「OFF」「OFF」「OFF」に配列する。

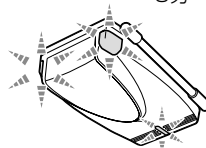


センサーユニットがスタンバイ時間設定モードになります。

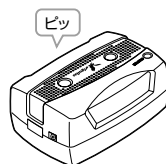
設定音と威嚇LEDの点滅回数で現在の設定値をお知らせします。

例 スタンバイ時間の設定

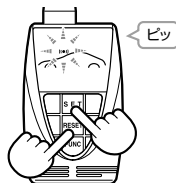
1回点滅	10秒
2回点滅	1分
3回点滅	3分
4回点滅	5分



ピッ	10秒
ピピッ	1分
ピピピッ	3分
ピピピピッ	5分



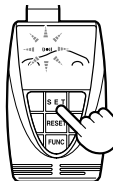
3 リモコンのSETボタンとRESETボタンを同時押し操作確認音『ピッ』が鳴るまで押し続ける(約5秒間)



監視マークが緑色で点滅します。

リモコンが設定モードになります。

4 リモコンのSETボタンを押し、設定値を変更する

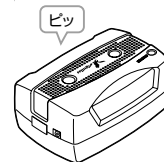
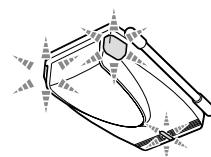


設定音または、威嚇LEDの点滅回数を確認しながらご希望の設定動作になるまで、リモコンのSETボタンを押して設定動作を変更します。



リモコンからの信号を受信すると…

設定音と威嚇LEDの点滅回数で設定値をお知らせします。



ポイント

設定中に再度リモコンのSETボタンとRESETボタンを同時に5秒以上押すまたは30秒以上リモコンの操作がないと、通常モードになります。設定完了音『ピーピー』が鳴り、監視マークが消灯します。



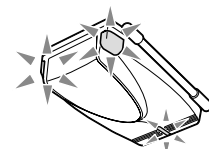
センサーユニットの操作

5 さらに他の項目を設定する場合は、続けてディップスイッチを設定したい項目の配列にあわせ、再度、手順3～4の操作を行ってください

ディップスイッチの配列を変更すると、手順3～4で変更した設定動作が有効となります。

6 ディップスイッチを、すべてOFF側にする

威嚇LEDが一瞬点灯し、設定完了音『ピーピー』が鳴ります。



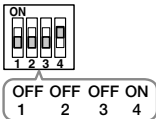
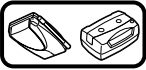
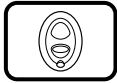
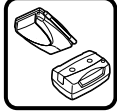
センサーユニットが通常モードになります。

7 リモコンのSETボタンとRESETボタンを同時に設定完了音『ピーピー』が鳴るまで(約5秒間)押す

リモコンの監視マークが消灯し、通常モードにもどります。

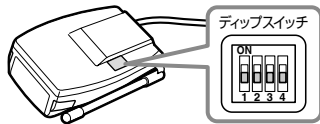
項目	ディップスイッチの配列	設定動作 リモコンのSETボタンを押したときの設定動作 (□: 工場出荷時の設定 ♪: 設定音 ※: 威嚇LED)
●スタンバイ時間の設定 セキュリティの作動操作から監視に入るまでの時間を設定します。 ターボタイマーを併用してご使用になる場合は、アフターアイドリング終了後、監視状態になるように設定してください。		リモコンのSETボタンを押す 10秒 ※ 1回点滅 1分 ※ 2回点滅 3分 ※ 3回点滅 5分 ※ 4回点滅 ターボタイマー併用時は設定の変更が必要です。
●強衝撃警報時間の設定 強い衝撃検知時の警報音の鳴動時間を設定できます。		リモコンのSETボタンを押す ワンショット ※ 1回点滅 10秒間 ※ 2回点滅 30秒間 ※ 3回点滅 60秒間 ※ 4回点滅
●ドア開・車内侵入警報時間の設定 ドア開・車内侵入・エンジン始動検知時の警報音の鳴動時間を設定できます。		リモコンのSETボタンを押す ワンショット ※ 1回点滅 30秒間 ※ 2回点滅 60秒間 ※ 3回点滅 120秒間 ※ 4回点滅

項目	ディップスイッチの配列	設定動作 リモコンのSETボタンを押したときの設定動作 (□: 工場出荷時の設定 ♪: 設定音 ※: 威嚇LED)
●エンジン始動(アクセサリ電源)監視設定 監視中にアクセサリ電源がONになった場合の動作を設定します。 シガーライターソケットがエンジンキーに連動しない外国車やエンジンスターターを併用してご使用になる場合には設置車両にあわせて設定してください。 外国車は設定の変更が必要です。		リモコンのSETボタンを押す リモコンに通報し、セキュリティを解除する ※ 1回点滅 リモコンに通報し、エンジン始動警報を鳴らす ※ ビッピッ ※ 2回点滅 ご注意 エンジンスターター併用時にはご使用になれません。エンジンスターター動作時に警報が鳴ります。 エンジン始動(アクセサリ電源)の監視を行わない ※ ビッピッ ※ 3回点滅 エンジン始動検知による警報や通報は行いません。エンジン始動中はドア開・車内侵入のみの監視となります。 エンジン始動(アクセサリ電源)の監視を行わない(外国車モード) ※ ビッピッ ※ 4回点滅 警報・通報は行いません。シガーライターソケットが常時ONになっている外国車はこの設定でご使用ください。 ご注意 サイレンユニットの電池が常に充電状態になりますので、車両のバッテリー上がりにご注意ください。1週間に1度程度はエンジンを始動し、車両のバッテリーを良好に保つよう心がけてください。
●威嚇LED点滅設定 監視動作中を示す威嚇LEDの点滅/消灯を選択できます。		リモコンのSETボタンを押す 点滅 ※ 1回点滅 消灯 ※ ビッピッ ※ 2回点滅

項目	ディップスイッチの配列	設定動作
●リモコンの登録 別売スペアリモコンを登録や付属のリモコンを紛失や破損により新たに登録する際の設定項目です。 ご注意 スペアリモコンを追加する場合は、スペアリモコンと付属のリモコンの両方を登録してください。 ポイント 付属のリモコンとスペアリモコンの1台ずつ(合計2台)を登録することができます。	 OFF OFF OFF ON 1 2 3 4	リモコンのSETボタンを押したときの設定動作 □：工場出荷時の設定 ♪：設定音 ※：威嚇LED 確認音『ビッ』が鳴り、威嚇LEDが一瞬点灯します。     1. リモコンのSETボタンとRESETボタンを同時に5秒以上押す。 2. リモコンのSETボタンを押す。 3. 確認音が鳴り、威嚇LEDが一瞬点灯します。確認音『ビッ』が鳴ります。 4. もう一度、リモコンのSETボタンを押す。 5. もう一度、リモコンのSETボタンとRESETボタンを同時に5秒以上押す。 6. 確認音『ピービッ』が鳴り登録を完了します。続けて登録していないリモコンを手順1から登録します。 7. スペアリモコンと付属のリモコンの登録が終わったら、すべてのディップスイッチをOFFにしてください。すべてのディップスイッチをOFFにすると、威嚇LEDが一瞬点灯し、設定完了音『ピービッ』が鳴ります。センサーユニットが通常モードに戻ります。 8. 付属のリモコンのSETボタンRESETボタンを同時に設定完了音『ピービッ』が鳴るまで(約5秒間)押す。リモコンが通常モードに戻ります。

■オールリセット

すべての設定を工場出荷時に戻します。

1 セキュリティを解除する センサーユニットの操作 	4 リモコンのSETボタンを確認音『ビッ』が鳴るまで押す  監視マークが緑色で点滅します。
2 センサーユニットのディップスイッチ配列を設定する  ディップスイッチ ディップスイッチを「ON」「ON」「ON」「OFF」に配列する。  ON ON ON OFF 1 2 3 4 確認音『ピービッ』が鳴り、威嚇LEDが一瞬点灯します。	リモコンからの信号を受信すると...  確認音『ピービッ』が鳴り、威嚇LEDが一瞬点灯します。
3 リモコンのSETボタンとRESETボタンを同時に設定完了音『ピービッ』が鳴るまで押し続ける(約5秒間)  監視マークが緑色で点滅します。 リモコンが設定モードになります。	5 ディップスイッチを、すべてOFF側にする 威嚇LEDが一瞬点灯し、設定完了音『ピービッ』が鳴ります。 6 リモコンのSETボタンとRESETボタンを同時に設定完了音『ピービッ』が鳴るまで(約5秒間)押す リモコンの監視マークが消灯し、通常モードにもどります。

センサーユニットの感度調整

調整方法

本機を初めて車輻に取り付けた場合は、調整を行ってください。すべてのボリュームを最大に調整したり、誤った調整を行うと誤動作の原因となります。

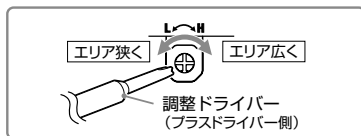
ポイント 付属の調整ドライバーを使用して調整してください。

●音圧センサー感度調整ボリューム 衝撃感度の調整

車輻への衝撃を強・弱2段階で判別し、警告・警報します。

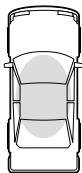
弱い衝撃…警告
強い衝撃…警報

車輻のボディを適度な強さで叩き、警告が鳴るように調整します。弱衝撃の調整を行うことで強衝撃の検知レベルが自動的に調整されます。



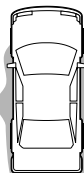
●車内検知調整 ボリューム 警告エリアの調整

車内監視エリアは車内検知が可能なエリアで、このエリア内での動きを車内侵入と判別して、警報を鳴らします。覗き込みでは警報が鳴らないように調整してください。



●車外検知調整ボリューム 警告エリアの調整

車外監視エリアは車外検知が可能なエリアで、このエリア内の動きを接近と判別して警告します。一般的な乗用車の車外監視エリアは、右図のようなエリアとなることが多く見られます。監視エリアを設定する際は監視エリアの分布と駐車環境を考慮して、調整してください。



ポイント

車輻によって監視エリアの分布は異なります。

車外監視エリアの調整方法

- ① セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後、ゆっくりと車に近づき、警告音『ピッ』が鳴ったところで停止し、監視エリアを確認する
車輻の左右、後方向から上記操作を行い、監視エリアの分布を大まかに把握します。チョークなどで印を付けておくと、わかりやすくなります。
- ② 監視エリアを広げる場合は、センサーユニットの「車外」ボリュームをサンバイザーに取り付けた状態で時計方向に回す
監視エリアを狭める場合は、「車外」ボリュームを反時計方向に回します。
- ③ 変更した監視エリアの分布を手順①で確認し、必要に応じて手順②の調整を行う

ポイント

一定時間内に接近をひんぱんに検知すると、誤動作とみなし、一時的に接近検知に対する警告動作を停止する機能(環境対応機能)が働きます。このような場合は、セキュリティを作動しなおして車外監視エリアの調整を行ってください。

車内監視エリアの調整方法

で注意

車内監視エリアを広くしすぎると、車外の動きでも車内侵入と判断し、警報を発する場合があります。車外の動きで警報(サイレン)が鳴る場合は、エリアの設定を狭くしてください。

- ① セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後、ゆっくりと車に近づき、車輻のすべてのウィンドウから車内を覗き込み、警報が鳴らないことを確認する
警報が鳴る場合は、再度「車内」ボリュームを反時計方向に少し回し、覗き込みで警報が鳴らないように調整してください。
- ② 車輻のドアを開け、ドアを開けたとき、または侵入動作(車内に乗り込もうとする動作)で警報が鳴ることを確認する

ポイント

車輻のすべてのドアで確認してください。

上記動作で警報が鳴らない場合は、「車内」ボリュームを時計方向に少し回し、項目2を再度確認してください。

音圧センサーの調整方法

- ① 車輻のボディを適度な強さで叩き、警告が鳴るように調整する
このとき叩いた強さが弱衝撃の感度となります。

オープンカーでご使用になる場合の車内監視エリア調整方法

- ① ルーフを開ける
- ② 運転席および助手席の物を盗もうと腕を伸ばした状態で、警報が鳴るように「車内」ボリュームを徐々に時計方向に回す(感度を上げていく)

オープンカーでご使用になる場合の車外監視エリア調整方法

- ① ルーフを閉じる
- ② 車輻を覗き込むような動作で警告が鳴るように、「車外」ボリュームを徐々に時計方向に回す((感度を上げていく))

ポイント

車輻への接近で警告が鳴るように調整した場合、ルーフを開けて駐車すると、監視エリアが広がり誤動作の原因となります。ルーフを開けた状態で、車外監視エリアの広がりをご確認ください。

別売スペアリモコンを使う

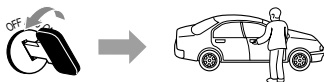
別売：スペアリモコン A-111S

別売のスペアリモコン：A-111Sを使って、本機、セキュリティの作動や解除ができます。また、スペアリモコンを使用してセキュリティの作動や解除を行うと、付属のリモコンにその内容を通知します。

セキュリティを作動する

準備

- 1 エンジンを切り(エンジンキーをOFFにする)、降車してドアを閉める



リモコンの操作

- 2 リモコンのSETボタンを押す



微弱電波型リモコンのため通信距離は最大約2mとなります。



センサーユニットがリモコンの信号を受信すると…

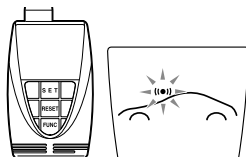
セキュリティ作動音『ピュ』が鳴り、全ての威嚇LEDが速い点滅で動作し、セキュリティが作動します。



付属のリモコンがセンサーユニットからの信号を受信すると…

付属のリモコン動作

受信音が鳴り、監視マークが赤またはオレンジで5秒間点灯します。



受信音

通常監視に変更した場合 ----- 『ドミソミド』
警告音キャンセル機能を設定した場合 ----- 『ドミソミン』

ポイント

警告音キャンセル機能設定するには、リモコンのSETボタンをサイレンユニットから作動音『ピュピュ』が鳴るまで(約2秒間)押します。

ポイント

警告音キャンセル機能を設定した場合は、作動音が『ピュピュ』と鳴ります。

ご注意

- 監視の状態から警告音キャンセル機能の設定や解除を通常監視に変更した場合、およびセキュリティ解除を行った場合は付属のリモコンに動作の変更を通知します。セキュリティ解除状態からの動作変更は、通知しません。
- 電波の届かない場所やリモコンの電源が入っていないと、センサーユニットの信号を受信できません。
- スペアリモコンには通知しません。

セキュリティを解除する

リモコンの操作

- 1 リモコンのRESETボタンを押す

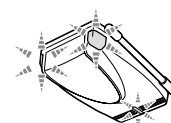


微弱電波型リモコンのため通信距離は最大約2mとなります。



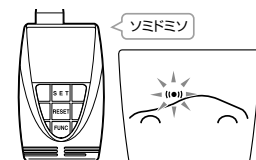
センサーユニットがリモコンの信号を受信すると…

セキュリティ解除音『ピュピュピュ』が鳴り、威嚇LEDが3回点滅し、セキュリティ解除とともに、付属のリモコンにセキュリティ解除を通知します。



付属のリモコンがセンサーユニットからの信号を受信すると…

付属のリモコン動作受信音『ソミドミン』が鳴り、監視マークが緑色で5秒間点灯します。



ご注意

- 電波の届かない場所やリモコンの電源が入っていないと、センサーユニットの信号を受信できません。
- スペアリモコンには通知しません。

オプション

●A-32SF コードレスボイスユニット

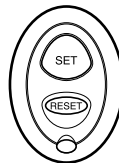
セキュリティの作動/解除時の動作確認音および接近検知/弱衝撃検知時の警告音を日本語または英語の音声にできます。
エンジンルームに取付できます。



●A-111S スペアリモコン

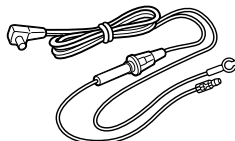
セキュリティの作動・警告音キャンセル機能の設定・セキュリティの解除動作ができる小型リモコンです。

※本機付属のリモコンが持つ通知等の機能はありません。
※微弱電波型リモコンのため通信距離は最大約2mとなります。



●OP-20 電源用直結コード

シガーライターソケットを使わずに、アクセサリ系端子(ヒューズボックス)から直接電源をとる場合に使用します。
(OP-20の他に市販の平型ヒューズタイプ電源取り出しコードが必要です)



故障かな？と思ったら

次ページに続く

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

セキュリティ機能について

Q

セキュリティが作動しない。

A

- スタンバイ時間が経過していますか？
…スタンバイ時間が経過するまで待つ。スタンバイ時間(監視モードに入るまでの時間)は10秒/1分/3分/5分から選択できます。
(「スタンバイ時間」32ページ参照)
- リモコンの電池が消耗していませんか？
…電池マークをご確認ください。(「リモコンを充電する」14ページ参照)
- サイレンユニットの電池が消耗していませんか？
…サイレンユニットの充電を行ってください。(「サイレンユニットの充電」10ページ参照)
- リモコン操作を誤っていませんか？
… リモコンの操作方法をご確認ください。
セキュリティを作動させる(20ページ参照)
セキュリティを解除する(27ページ参照)
- 車と離れすぎていませんか？
…電波の届く範囲内でリモコンの操作を行ってください。
- 配線や接続が正しく行われていますか？
…センサーユニットの信号線がサイレンユニットに接続されていることをご確認ください。

その他

その他

Q

車輻へ接近しても、衝撃を与えても警告しない。

A

- 監視エリアの調整が正しく設定されていますか？
…「センサーユニットの感度調整」(36ページ)を参照のうえ、動作を確認してください。改善が見られない場合は、販売店にご相談ください。
- セキュリティが監視状態になっていますか？ セキュリティ作動後、監視に入るのは、スタンバイ時間(10秒/1分/3分/5分)経過後です。
…セキュリティを作動し、スタンバイ時間経過後に動作を確認してください。(「スタンバイ時間」32ページ参照)

Q

異常がないのに警報が鳴る。

A

- 監視エリアの調整が正しく設定されていますか？
…「センサーユニットの感度調整」(36ページ)を参照のうえ、動作を確認してください。改善が見られない場合は、販売店にご相談ください。
- スタンバイ時間が、車に合わせて正しく設定されていますか？
…電動ファン搭載車やターボタイマーを取り付けている車でお使いになる場合は、ファンが回り続ける時間やターボタイマーのアフターアイドルリング時間を見込んで、スタンバイ時間を設定してください。(「スタンバイ時間」32ページ参照)

リモコン動作について

Q

リモコンのボタンを押しても、操作確認音がしない。

A

- リモコンの電源がONになっていますか？
…リモコンの電源をONにしてください。(「リモコンの電源をONにする」15ページ参照)
- 電池が消耗していませんか？
…電池マークをご確認ください。(「リモコンを充電する」14ページ参照)

Q

リモコン操作できる距離が短い。

A

- センサーユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。センサーユニットアンテナの角度調整で、通信距離が伸びることがあります。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
- センサーユニット(車)とリモコンの間に、障害物がありますか？
- リモコンにチェーンやカギ、金属性アクセサリなどを付けていると、通信エラーが発生する場合があります。

Q

送信はできるが、センサーユニットのからの信号を受信できない。

A

- 周囲の電波状況によっては、センサーユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。
- リモコンの電池残量が少ないと、アンサーバックを表示しません。リモコンを充電してください。(「リモコンを充電する」14ページ参照)

Q

接近を検知しても、通報音が鳴らない。

A

警告音キャンセル機能(22ページ参照)が設定されていませんか？

Q

異常を検知すると、車輻側(サイレンユニット)の警告・警報は鳴るが、リモコンに通報しない。

A

サイレンユニットの電池が消耗していませんか？ (「セキュリティ監視中、サイレンユニットの電池が消耗すると」26ページ参照)

■センサーユニット

動作温度範囲	−20℃～+80℃
寸法	62(W)×33.7(H)×92(D)mm
重量	108g(ケーブル含む)
●通信部	
適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
送信出力	10mW以下

●マイクロ波センサー部

適合技術基準	特定小電力無線局移動体 検知センター用無線設備
発振周波数/出力	24.15GHz/10mW以下 (技術基準適合品)

■サイレンユニット

音圧	100dB/m
使用電池	専用ニッケル水素電池(3.6V)
動作温度範囲	−20℃～+85℃
寸法	63.5(W)×38.2(H)× 91(D)mm
重量	82g(電池含まず)

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
使用周波数帯	420MHz帯
送信出力	10mW
動作温度範囲	−10℃～+50℃
寸法	37.2(W)×58.8(H)× 23.5(D)mm(アンテナ除く)
重量	38.8g(電池含む)

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から1年間です。
(電池等消耗部品を除く)

■修理を依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」の点検をしていた
だいても、なお異常のあるときは、故障状
況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、
保証書を添えて製品をご持参ください。保
証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。
修理によって機能が持続できる場合は、お
客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊
社営業所・サービス部にお問い合わせく
ださい。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときはご希望の
場合は、弊社商品の取り扱いのある販売店
でお買い求めください。

※リモコンは取り寄せ品となるため、ご注文
から数日かかる場合があります。あらかじめ
ご了承ください。

※新しいリモコンのご使用にあたっては、
メインユニットにIDコードを登録する必
要があります。詳しい手順は本書34
ページをご覧ください。また、新たなリ
モコンを登録すると、今までご使用に
なっていたリモコンは使用できません。

本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製
品の保証書にしたがって修理いたします。
また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償について
は、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

ユピテルで相談窓口一覧

お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

取付、取扱方法に関するお問い合わせ

受付時間 10:00～18:00（年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター **TEL. (0564)45-6515**

電子メールでのお問合せ先 **service@yupiteru.co.jp**

取扱方法、修理依頼、販売店の紹介に関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:30 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・新潟・静岡	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・長野・福井	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)769-1601 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3-181
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

- 上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 (イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 (ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源（電圧、周波数）や異常電圧による故障及び損傷
 (ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 (ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
 (ヘ)本書のご提示がない場合
 (ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 (チ)付属品や消耗品等の消耗による交換

(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は46ページをご覧ください。

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	VE-S61R(マイクロ波センサー搭載カーセキュリティシステム)		
お買い上げ年月日	年	月	日
保証期間	お買い上げの日より1年 (電圧等消耗部品は除く)		
お客様 ご住所	〒		
販売店 店名・住所	TEL.()		

上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。

無効